

伝え合う心、広がる人権 ～一人ひとりが大切にされる学校へ～



20世紀には世界を巻き込んだ大戦が二度も起こり、人権侵害や人権抑圧などが横行しました。人権問題は国際社会全体にかかわる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が最重要であるとし、1948年12月10日、国連第3回総会において「世界人権宣言」が採択されました。日本では12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定めており、今年も全国各地で人権活動や講演会が実施されました。

三田市でも12月6日に「人権と共生社会を考える市民のつどい」が開かれ、3年生の〇〇さんが市内中学校代表生徒として人権作文を発表しました。傾いて聞いている方々もたくさんいて、皆さんで思いを共有することの大切さ、素晴らしさを実感した時間となりました。今一度、自分の心と向き合い、誰もが自分らしく、安心して生活できる世界を皆でつくりあげていきましょう。

10月9日 全校道徳 「手伝えることありますか」

伊丹人権擁護委員協議会の方々が来校し、全校道徳を行いました。「人権とは何か」という問いから始まり、困っている人に対して自分ができる『本当の優しさ、本当の親切』について考えていきました。自分を振り返り、どのグループも活発な意見交流をする様子が見られ、体育館全体が温かい雰囲気包まれたようでした。

《全校道徳の感想より》

- 本当の優しさや親切とは自分で決めるものではない、ということが分かりました。困っている人と出会ったときは、まず声をかけて、第一に相手の気持ちを知らうと思いました。
- 相手が困っていることに気付くこと。そして、自分事として考えることで、本当に優しく接することができるのではないかと考えました。これが本当の優しさ、親切だと思えます。
- 困っている人に出会ったら、「大丈夫ですか？」などの気遣いの言葉や笑顔で自己紹介をして、仲良くなることも大切だと思いました。
- 相手の気持ちを考えずに何でもかんでも代わりにするのは、相手にとって良いこととは限らないということが分かりました。相手が本当に困っているときこそ「お手伝いしましょうか」と声をかけたりしたいです。



〔11月は「地域と学ぶ人権学習会」が各地域で開催されました〕

今年度も校区で人権学習会が開催されました。11月9日には本庄小学校にて「インターネット上の部落差別をめぐる現状と課題」を、11月23日には広野市民センターで落語を通じた「笑いの中の気づきと学び」を、同じく23日にPTA人権部三校合同講演会では、「発達と人権」という演題で講演会が実施されました。本校教員も学習会や講演会に参加させていただき、人権について深く考える機会となりました。また、地域の方々との思いを語り合うことができたことも大変貴重な時間となりました。最後になりましたが、企画・運営して下さった保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。

10月31日 文化祭 ～人権作文発表を聞いて～

1年生からは〇〇さんが『転校したときの気持ちと経験』、2年生からは〇〇さんが『あたりまえ』、3年生からは〇〇さんが『個性』というタイトルの人権作文を発表しました。堂々と前を向いて発表する3人の姿に、体育館にいる皆さんの心がグッと惹きつけられていた様子で、生徒の感想には「聞いていてとても感動した」と書いている人もたくさんいました。人権作文に込められた思いの深さを感じずにはられません。とても良い発表会となりました。

《人権作文を聞いて》

〔1年生の発表を聞いて〕

○自分も小さい頃に何度か引越すことがあったので、気持ちが分かった。知らない人だらけだと確かに不安になる。でも、声をかけてくれるだけでも気持ちが全然違う。色々な人に声をかけたり、優しくしたりすることを心がけようと思う。

○私も何度も引越した経験があるので気持ちがすごい分かります。周りの人たちの支えや自分の努力によって今、楽しく生活できていることが伝わってきました。温かい発表でした。○少しでも話したり声をかけたりすることで相手の人が安心できるし、今日の発表を聞いて、これからは転校してきた人や初めて会う人にも声をかけていきたいと思いました。

〔2年生の発表を聞いて〕

○自分自身と向き合って、こんなにも堂々と発表している姿が格好いいなと思いました。○話を聞いてすごく納得した。自分にとっての当たり前が他の人と違うこともたくさんあるし、自分の中の当たり前が友達に受け入れられないこともあったけど、それを一つの個性として受け止めて欲しい。○会話の中でも無意識に使っているであろう「当たり前」について、10人いれば10人違っていて、みんなそれぞれが持っている考え方を大事にすることをしていきたいと思います。

〔3年生の発表を聞いて〕

○私も自分のいやなところはあるけれど、発表を聞いて、それは私だけの個性だから気にしないでいいんだというポジティブな気持ちになった。○私にも思い当たる節があるので、発表を聞いて、少し自信が持てるようになれたと思います。そして、少しでも毎日が楽しく感じられたらいいなと思います。○悩みながらも自分の弱点に向き合い、自分を少しずつ受け入れていく姿に勇気をもらいました。私も自分の個性を大事にしながらか前向きに自分に向き合いたい。



あったかツリー ～心があたたかくなる瞬間(とき)～

生徒会活動による「いじめゼロ取組み」として、「あったかTree」を人権だより第1号で紹介しました。今では、たくさんの人たちの「心があたたかくなった」ときの思いが生徒玄関に飾られ、どんどんと大きな木が育っています。皆さんの思いを読んでいて心がほっこりとなりました。

《あったかTreeから、皆さんの思いを少し紹介します》

- 物を持つのが大変だったときに、友達が手伝ってくれて、とても嬉しかった。
- 英語の発音が分からないときに、友達が優しく丁寧に教えてくれた。
- 友達に体育大会の仕事を「一緒にやろう」と言ってくれて、とても嬉しかった。
- 探究の時間のときに、先輩が優しく教えてくれた。
- テスト前に家族から「頑張って」と励ましてもらえて嬉しかった。
- 友達に悩み事を相談したときに「気にしなくていいんじゃない」と言ってくれたことが嬉しかった。

